

5月12日

『看護の日イベント』開催

「看護の日」とは

21世紀の高齢化社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心を私たち一人一人が分かち合うことが必要です。こうした心をすべての人が育むきっかけになるように、厚生省により1990年に制定されました。

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日が5月12日であり、この日を国際看護師協会は「国際看護の日」に定めています。

5月12日を含む週の5月10日～16日までが看護週間となっており、全国各地で気軽に看護に触れていただくイベントが開催されています。

ことしも、
看護の日の
イベントに
参加しに
来ました。



当院では、健康に関心を持っていただくきっかけとして、身長・体重・血圧測定・BMI計測および、ご自身やご家族さまの病気等のご心配事に関する相談などを、検査担当医師・栄養士・薬剤師・看護師の多職種で担当いたしました。

9:00～11:00の2時間でしたが、多くの職種が関わる院内サービス推進委員会が企画運営し、多くの方々に参加していただくことができました。



小児科病棟
訪問



元気
いっぱい!!



看護の力
さくれつ〜



今年も、天候に恵まれ、さのまるくんが参加してくれました。つぼみ保育園の子どもたちも、さのまるくんとのおふれあいの時間を楽しく過ごし、記念撮影もしていただきました。さのまるくんは外来各フロア、小児科病棟にお邪魔し、患者さんと握手をしたり、写真撮影をしたりと、積極的に参加していただきました。さのまるくんの参加は園児だけでなく、病院利用された方を笑顔にさせてくれていました。